

(社)倫理形弁用は文部科学省の許可を受けた公益法人で生涯教育を推進する民間の社会教育団体です。研究・教育・出版・普及の諸種を行っているほか文化種別や環境美化種別にも力を入れています。
活動の趣旨に賛同する全国各地の個人及び法人の会員により構成されています。創立は昭和20年9月3日です。



2010年4月号



家庭倫理の会は「よくする活動」を推進しています
家庭を、地域を、日本を、地球をよくする 活動を推進しています

～2010年3月14日 合同おはよう倫理塾 開催～

戸井田 幸子講師

・3月14日、天神会館にて合同おはよう倫理塾が行われました。
当日は、倫理研究所・戸井田幸子専任講師をお迎えし、
真木佳子さんの実践報告の後、ご講話頂きました。
真木さんの実践報告は一昨年、多くの苦難が一辺に押し寄せてきて
大変だった時期に友人に誘われておはよう倫理塾に参加され、
入会して倫理を学び始め、その苦難の大元の原因であった
夫婦の関係を良くすること、夫に感謝する、
夫に合わせるという実践を重ねた結果、夫婦の関係・親子関係ともに円満に
なっていったお話を頂きました。



・戸井田先生からは、第6条・子女名優を中心に、「親と子は見えないところで繋がっており、子供に問題があっても親が反省し生活を変えれば、指一本触れずとも治ってしまう」「10ヶ月と10日かけて、60兆個の細胞を形成していく。これはまさに神のプログラムとしか考えられず、子供というのは親の私物ではなく、天からの授かり物だから大切に育てて社会にお返しすることが親の使命」「自分を親として選んで生まれてきてくれてありがとう、と思う気持ちが大切」とのお話を頂きました。また、「倫理は問題を解決する解答があるのではなく、苦難に出会ったときにどう自分を変えることができるかを教えているものです」と教えて頂き、本当に悲しいことはなかなか人に言えるものではないですが、相談や指導を受けることによって大勢の方の前で話せるくらいに心を磨きあげていきましょう」とのお話も頂きました。

真木 佳子(子育て副委員長)



・最後に家庭倫理の会の方針は「原点回帰」「スリム&シンプル」で、「おはよう倫理塾の活性化」と「火の玉の普及」をお話頂きました。「親子・夫婦の問題」で悩まれている方は、相当多いと思います。今回戸井田先生にお教え頂きましたことも含めて、まず自らの心を高めて多くの方たちに気軽にお伝えできるようにしていきたいと思います。

参加者 25名

(広報副委員長 豊島 真)

野口泰子南支部長

～3月13日、14日 戸井田専任講師をお迎えして～

13日の役職者研修では 第5講「自分を変える」の項で自分を変えることは 幸せになること。実践とは普段やらないことをやること。と学ばせて頂きました。翌日のおはよう倫理塾に引き続き、10時からの頒布実習に出席させて頂きました。この日は丁度、倫研の行事と重なり、3名でしたが、頒布させて頂きました。

「家庭倫理の会中野区の戸井田と申します」と自己紹介。続いて「新世」の紹介。講演会のお誘いと...はっきりした言葉で丁寧に、そしてさわやかにお伝えされていたことが、とても印象的でした。すぐに終わりの時間となりましたがその後も2人で続きを30分程頒布させて頂きました。「一冊の新世が人生を変える」と心に刻み、気軽に身軽にいそいそとさせて頂き、心も軽く家路と向かいました。

倫理と私

高田馬場準支部 支部長 田邊悟郎

現在アラフォーにて婚活中の私の入会は生まれた時から、そうです私の生まれる前から母親が入会し、この世に生を受けたのと同時に始まっております。

日曜少年朝の集いや青年活動にも参加させていただきまして、この勉強を通して人生のターニングポイントにて私を諸々と導いていただいたりもあります。何といたっても「生活の筋道」の根本もたくさんの研究員や講師の先生、そして会員の先輩方を目の当たりに致しながら私もこれを模範として成長して参りました。

これからはここまで学び得たものを無駄にすることなく、日常や仕事面にも大いに生かして諸々と展開していくこと。又、次世代の人たちへ受け継いでいただくべく活動などを積極的に努めて参ります。

今後は働き盛りの人たち、子育ての人たち、そして前途ある青少年たちは大変貴重な存在なことを忘れずに...

～どんぐりの会 子育てトークサロン～

3月16日に池田八重子選抜副参事(生活倫理相談士)をお迎えして、「ありがとう」子どもを育む愛の一言というテーマで行われました。予報では雨でしたが、お天気にも恵まれ暖かな陽射しの中、若いお母さんたちが集まって下さいました。

<子どもをダメにする3つの原因>

夫婦が不仲...夫婦喧嘩の仕方も伝授 子どもの前でしない。

まずは堪えて時を選ぶ。寝る前は避ける。できれば日没以前。

夫婦の行動の中に子どもの問題行動の原因が潜んでいる。

自分を客観視してみる。

しつけの責任を転嫁する。

さりげない一言...叱る前に良く考え言葉を選びましょう。けなす、くさすを

やめましょう。

<親の生き方が子に反映していく>

ありがとうは魔法の言葉。あり難いの意味です。ありがとう、ありがとう、とあり難いことを受けると 有り難いことが、あり易くなる。夫や子どもや親に対する「ありがとう」を物や自分(身体も)に及ばせたら素晴らしい人生が開けてくる。

と結ばれた。その後は質問タイム。質問者も回答者も熱が入って、サンドイッチを頂く時間もなくなりましたが、

お腹は空腹でも気持ちは充実！和やかに閉会となりました。 未会員6名 スタッフ8名 子ども4名 (桐山)



訃報

南支部の原 福栄さんが3月10日に亡くなりました。

東中野実践部では長く委員長をされておられました。

7日はご夫婦でいちご狩りを、楽しんでいらっしやうと伺ったので、突然のことでとても驚きました。

奥様の^{ちはる}千美さんが、朝お布団の中で冷たくなられているのに気がついて、救急車を呼ばれました。

普通なら、警察が来て 解剖される所を病院へ運んでもらえて、スムーズに物事が運んだのは倫理のお勉強のおかげですと言っておられました。前日はデイサービスが終わって、夕食もお腹いっぱい食べて寝る前に「今日一日 お付き合いありがとうございました」と千美さんが挨拶されて、「うん」と返事をされたのが最後となりました。

享年75歳。心よりご冥福をお祈りいたします。

(桐山)

～4月インフォメーション～

5日(月) 13:30～ しきなみ短歌 <商工会館>

11日(日) 5:00～ 合同おはよう倫理塾(水野美樹子講師) <天神会館>

17日(土) 5:00～ 合同実践報告会 <天神会館>

18日(日) 5:00～ 家庭倫理講演会「ありがとうの一言が家庭を変える」 <中野芸能小劇場>

25日(日)～26日(月) 富士研集団研修

